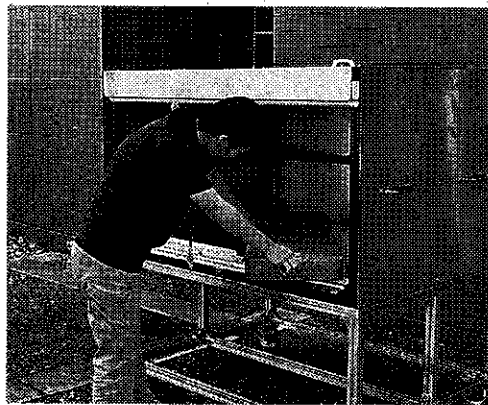


ボーリングコア 撮影と土質判定を効率化

キタック、ガゾウが共同開発

コアミに採取したボーリングコアを
詰めた箱を装着する



総合建設コンサルタント
のキタックとソフトウェア
会社のガゾウ(新潟市中央
区、金田篤幸社長)は共同
で、地質調査で採取したボ
ーリングコアの撮影を効率
化できるシステム「CORE
RMIE(コアミ)」と、
撮影した土質判定をAIが
手助けする「コアミAIP
ro(エーアイプロ)」を開
発した。

二つの活用により、60分
ほどかかる土質サンプルを
コアミは、撮影ブースと
キヤスター付きの架台、コ
ア撮影用のカメラ、パソコ
ンで構成。大きさは高さ83
センチ、幅1センチ34センチ、奥行き1
センチで重さ90キロ。大型の商用
バンに搭載可能で現場に持
ち込んでの撮影にも対応で
きる。エーアイプロは、誰
が撮影しても同じクオリテ
ィーのコア写真が撮れ画像
編集による品質のばらつき
を抑えることもできるとい
う。

キタックは、同社が受注
の公共発注機関の地質調査
業務に試験的に導入して、
性能を確認済み。開発に協
力した大塚悟新潟大学工学
部教授もコアの撮影と土質

北陸

北陸総局

〒951-8066 新潟市中央区東堀通一番町343(東堀ビル)
電話025・2269・5411 FAX025・2269・5412
hokuriku@decn.co.jp

30平方メートル、付属建築物6
棟がS造平屋176平方
メートル。

市の中心市街地である大門
・丸之内地区を対象に現地
調査を行い、将来のエリア

の中心市街地である大門
・丸之内地区を対象に現地
調査を行い、将来のエリア

発表などを行った。
最終日の発表で各班は、
地区の課題として「昔は栄

面の取り組みや実現に向け
た事業スキームの検討など
の調査・分

判定を省力化、効率化でき
るという認識を示してい
る。9月上旬に熊本県で開
催された土木学会の全国大
会年次学術講演会での発表
でも好評を得たという。
キタックは二つをセット
で販売する。価格はコアミ

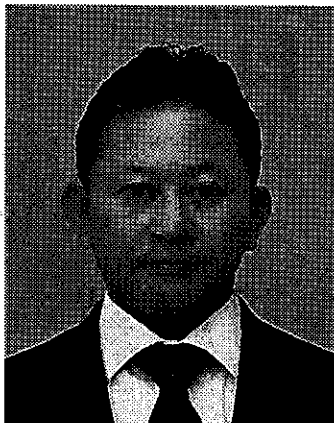
が250万円(税抜き)、
エーアイプロがサブスクリ
プション契約方式で月額15
万円(同)。セットで年間
10台程度の販売を目指す。
既に地質調査会社や建設会
社から購入申し込みが来て
いるという。

北陸地方整備局新潟国道
事務所は19日、16日に開札
した「R7新潟国道橋梁耐震
震補強設計その1業務」
「R7新潟国道橋梁耐震補
強設計その2業務」の2件
の簡易公募型競争入札結果
を発表した。落札者はいず

北陸整備局
2件とも長大に
新潟国道 橋梁耐震補強設計

復興関連工事に貢献

ひと



経仮設リース業協会北信越支部長
中嶋 健博氏

6月6日付で就任した。
「建設業界を取り巻く環境
は大きく変動している。現
場の声に耳を傾け、各会員
同士が活発な意見交換を行
い情報や問題を共有できる
環境を整える」と意気込む。

課題となる労務費の高騰
などへは、資機材価格の転
嫁を進めることで対応す
る。「業界を取り巻く環境
が厳しさを増している中、
支部の結束力が問われてい
る」と呼び掛ける。

北信越地区の支部長とし
て、能登半島地震、豪雨災
害の復旧・復興関連工事へ
の貢献に努める。「関連工
事が多いが、慢性的に人手
と資機材が不足している。
仮設機材レンタル業界とし
ても、被災者が震災前の日
常を再び送れるよう今後も
安全な資機材の安定供給に
努める」と決意を新たにす
る。

2000年名古屋経済学
部卒業。08年北国リー
17年敦賀営業所所
24年から社長。趣
味は、雄大な景色を
眺める。ミニカーシ
ョン、リラクゼーション
が趣味。福井県出身。